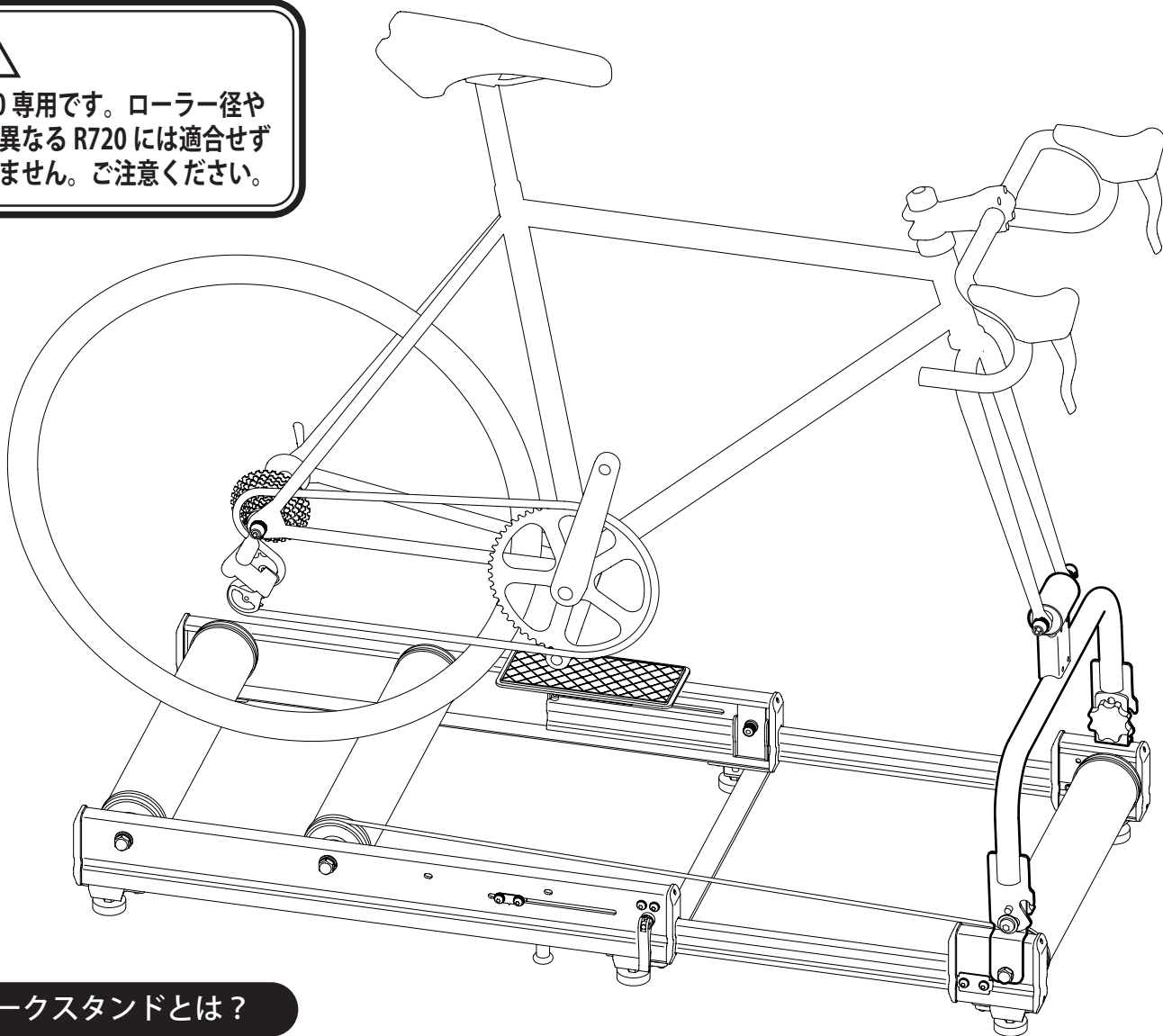




R730 専用です。ローラー径や幅の異なる R720 には適合せず使えません。ご注意ください。



フォークスタンドとは？

- 3本ローラーにまだ慣れていない初心者でも難しいバランス取りを行わずとも楽にトレーニングできるようにと、自転車を、前輪を取り外した前フォークで支え半固定にするためのスタンドです。
- 前フォークは完全固定ではなく樹脂部品を利用してある程度のクッション性を持たせた状態で保持していますから、本商品を使用することでの前フォークの破損への心配は不要です。
- 慣れてきて不要になってきたら、フォークスタンドはいちいち取り外すことなく、簡単な操作で前に倒して邪魔にならない位置に退避させることができます。このときノブボルトが前輪ガードの役目を果たします。複数人で共用しているときなどに便利な設計です。
- 3本ローラーに慣れて前フォークを支えなくても乗れるようになっても、3本ローラーを通常の固定式トレーナーとして同様のトレーニングを行なうこともできます。その際は、タイヤの摩耗が圧倒的に少ないというメリットになります。

品質保証期間：ご購入後 1年間

弊社は、本商品を最初に新品で購入されたユーザーに限り、メーカー側に瑕疵のある製造方法や素材選択などが原因となる不具合に対して、無償の修理または部品の交換を行ないます。なおこの保証には通常考えられる経年劣化や自然摩耗、退色やサビなどは含まれません。詳しくは添付の「製品保証規定」カードをご覧ください。また最新情報については弊社ウェブサイトをご参照ください。品質改善のため商品仕様は予告なく変更することがあります。

問い合わせ先

【販売者】

株式会社 フカヤ

〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 1-37

Phone (052) 228-8910

Fax (052) 228-8917

Web www.fukaya-nagoya.co.jp

【製造者】

株式会社 箕浦

〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1

Phone (0584) 27-3131






Fax (0584) 27-7505

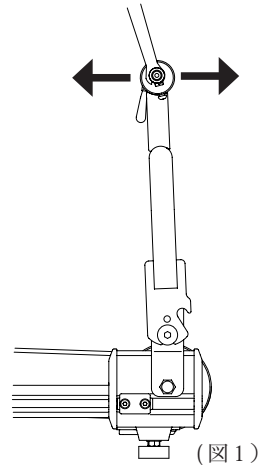
Mail infodesk@minoura.jp

Web www.minoura.jp

日本製

注意していただきたいこと

-  一般的な 9mm クイック式の前フォークに加え、12mm・15mm のスルーアクスル式前フォークに対応しています。それら以外のサイズには、ブーストハブも含めて適合していません。
-  乗車中は無理に自転車を左右に振らないでください。前フォークがクイックから外れて転倒したり部品や車体を破損させてしまうおそれがあります。
-  フォークスタンドはトレーニング中の動きに追従するため多少前後に動くように作っています(図1)が、お使いの自転車に合わせたホイールベース調整はフォークスタンドが最もニュートラルとなる「直立させた状態」で行なってください。
-  フォークスタンド本体を位置決めする爪は、しっかりと固定ピンに差し込みノブボルトを締め込んで固定してからお使いください。中途半端に浮いている状態で使用すると、突然外れて転倒してしまうおそれがあります。
-  フォークスタンドを前に倒した状態で通常の3本ローラーとして使っている最中も、フォークスタンドはただ倒すだけでなく、しっかりとロック位置に押し込みノブボルトを締め込んで固定しておいてください。固定していないと、ノブと前ローラーとの間にできる大きな隙間に前輪がはまり込んでしまい急激に前輪がロックされることで、落車や破損などの大きなアクシデントに至ってしまうおそれがあるためです。



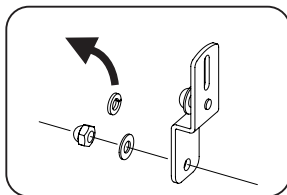
フォークスタンドの組み付け方

必要な工具： 17mm スパナ

- 1** 作業の前に、前フレームを縮めておくか、あるいはローラーベルトをローラーキャップの溝から外しておくなどしてベルトテンションを緩めておくと、作業がしやすくなります。外したベルトをフレームの外に出すのは、フォークスタンドが取り付けられなくなりますからおやめください。

2 既存の部品を取り外します。

前ローラーの袋ナットとワッシャを取り外します。

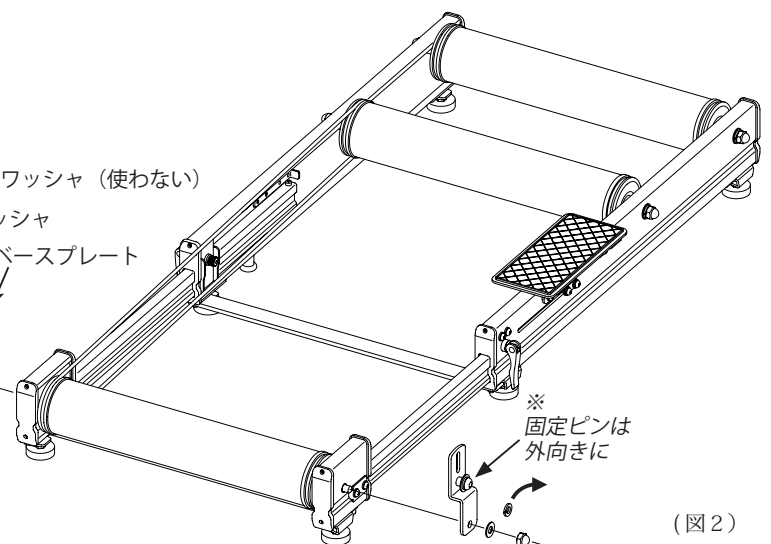



袋ナット
スプリングワッシャ (使わない)
平ワッシャ
ベースプレート

3 ベースプレートを取り付けます。

フォークスタンドのベースプレートを前ローラーの軸に共締めします。

固定ピンは外向きで、ベースプレートの分だけねじが短くなってしまうため、厚いスプリングワッシャは使わず薄い平ワッシャのみを使い、17mm スパナで袋ナットをしっかりと締め込み固定します。(図2)

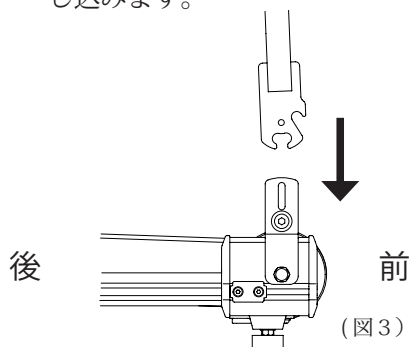


-  袋ナットを締め付け過ぎると、柔らかいアルミ製のフレームやカラーが変形したり潰れたりするおそれがありますから、規定トルクを守って注意して締めてください。

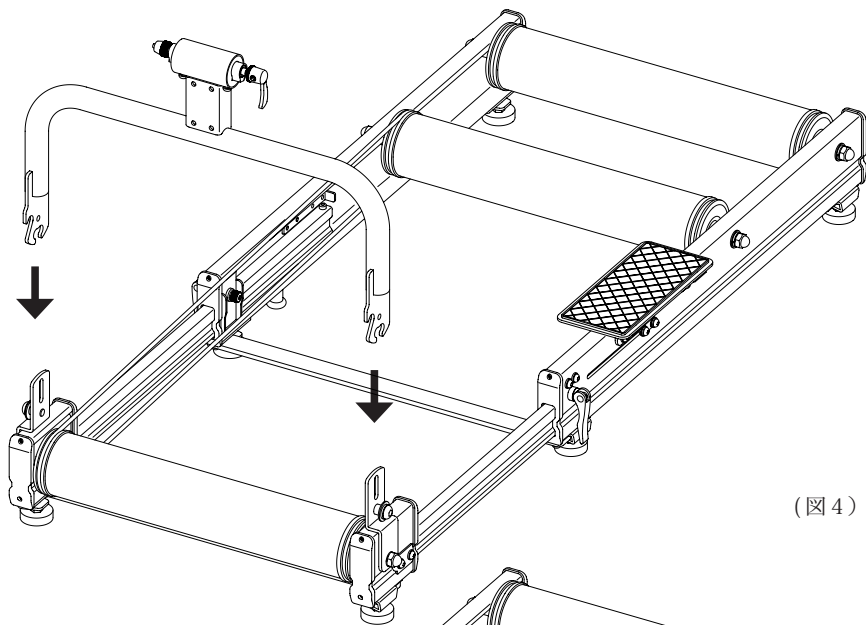
推奨締め付けトルク：12 N.m

4**本体を装着します。**

フォークスタンドをロック位置用の切り欠きを前に向けて（図3）、下側の切り欠き爪を固定ピンに差し込みます。



(図3)



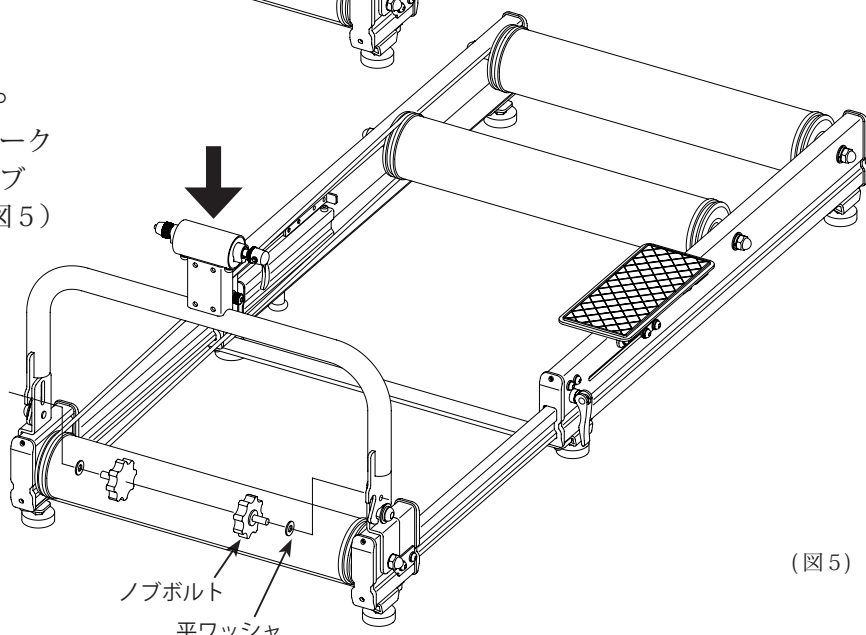
(図4)

5**ノブボルトを取り付けます。**

ノブボルトに平ワッシャを通し、フォークスタンドを下向きに押し込みながらノブボルトを締め付けて取り付けます。（図5）

フォークスタンドは若干前後に動いてトレーニング中の車体の揺れを吸収する必要がありますから、ノブボルトは軽くギュッと締めるだけにとどめてください。

これで装着は完了です。



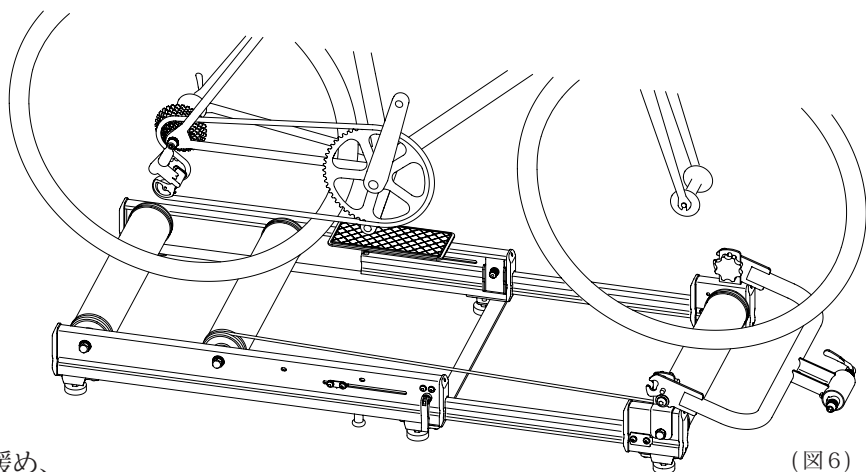
(図5)

フォークスタンドの倒し方

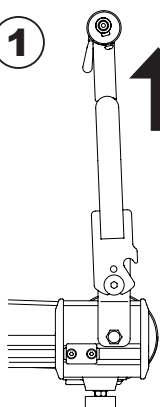
フォークスタンドを使わないときは簡単な操作で前に倒しておくことができます。（図6）

このときノブボルトの樹脂部分が前輪ガードの代わりになり、それ以上外側には行かせないための壁となります。

また R730 を収納するときは、反対に後ろ向きに倒しておくコンパクトにまとまります。



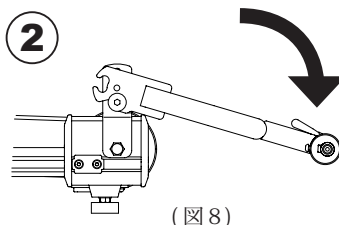
(図6)

1

(図7)

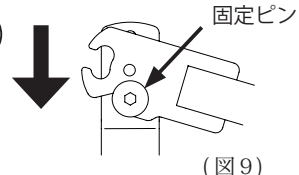
①ノブボルトを少し緩め、フォークスタンド下部の爪が固定ピンから外れるまで引き上げます。

②そのまま前に倒し

2

(図8)

③前側の切り欠きを固定ピンにはめ込み（図9）、スタンド本体を下に押し下げながらノブボルトを締め込んで固定します。

3

(図9)

9mm クイックの場合

前フォーク受けのレバーを開き、必要に応じてナットを緩め、前フォークを差し込んでから緩めたナットを再び締めて調節してから、レバーを閉じて締めます。

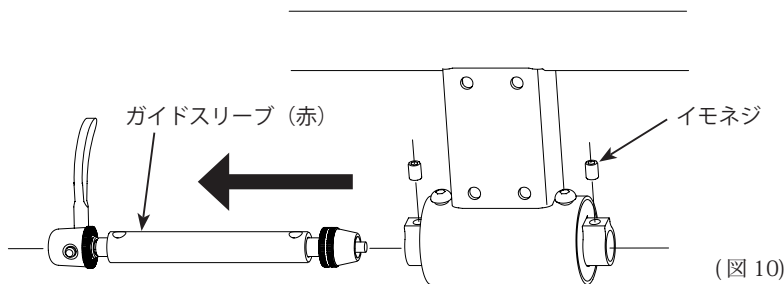


前フォーク受け下側のイモネジが緩んでしまっていると、赤色ガイドスリーブの中にある 9mm クイック用めっきパイプがずれてしまいます。前フォークはこのめっきパイプで支えられます。ずれたらまだしもスリーブ内に入り込んでしまっていたら、前フォークを正しく受けられなくなり、脱落して落車したり自転車を破損させてしまうことがあります。めっきパイプが左右均等に出ていることを確認し、イモネジを 3mm 六角レンチで軽く（推奨トルク 1.5 N.m）締めてから自転車を装着して使用してください。

15mm スルーアクスルの場合

前フォーク受け下側のイモネジを抜き取り（隣のボタンボルトは緩めない）、組み付けてあるクイックを赤いガイドスリーブごと抜き取ります。

自転車の 15mm スルーアクスルを通し、前フォークを取り付けます。



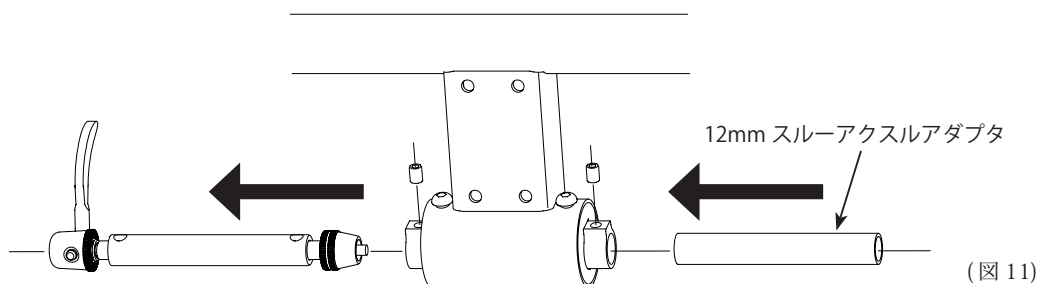
図は説明しやすいようにと天地を逆さまにして描いてあります。

(図 10)

12mm スルーアクスルの場合

前フォーク受け下側のイモネジを緩め（抜き取らない。また隣のボタンボルトは緩めない）、組み付けてあるクイックを赤いガイドスリーブごと抜き取ります。

付属の 12mm スルーアクスルアダプタを通し、イモネジを軽く締めて保持し、その中に自転車に付属している 12mm スルーアクスルを通しながら前フォークを取り付けます。



(図 11)



アダプタは軟らかいアルミパイプなので、イモネジは強くは締めないでください。アダプタが変形してしまい 12mm スルーアクスルが通せなくなってしまいます。軽く締めて、動かない程度に保持させるだけで十分です。